

- 1 主 題 よりよく生きる <2- (2) 人間愛・思いやり>  
2 資料名 「カーテンの向こう」 出典：明るい心  
3 本時の指導

(1) ねらい

- ・ ヤコブの真の生き方に気づき、人間にはよりよく生きようとする強さや気高さがあることを知るとともに、自分自身の生き方を見つめようとする心情を育てる。

(2) 準備

場面絵、センテンスカード

(3) 指導過程

区分	学 習 活 動	指導上の留意点・支援
方向 づけ ける	5分 1 嘘をついてもいいか悪いかを考えさせる。 ・ いけない。相手がいやな思いをするから ・ だめ。嘘つきは泥棒の始まりだから ・ 悪い。嘘つきと思われるから ・ いい。相手のためにつく嘘ならいいと思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達との関わりの場面を想起させ、ねらいへの方向づけをする。</li> <li>・ 発言が出ない場合には、友達との関わりの中で嘘をついてしまったり、嘘をつかれたことはないかを思い出させて考えさせる。</li> </ul>
価値 の 追 究 把 握 ・ 自 己 の 生 き 方 の 実 感	35分 2 本資料を聞き、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">外の様子を話してくれと言われたら、どうしますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本当のことを言う。ヤコブが恨まれていてかわいそうだから。</li> <li>・ 本当のことを言う。嘘をつき続けるのはよくないから。</li> <li>・ 作り話をする。他の患者が悲しむから。</li> <li>・ 作り話をする。患者の唯一の楽しみだから。</li> </ul> <p>3 自分の意見はどの意見に近いか挙手を する。出た意見から詳しく聞きたいことを 話し合う。 ・ ヤコブが恨まれたままにしたくない。 ・ みんなのために嘘をついていたヤコブに お礼が言いたい。 ・ どんな理由でも嘘はよくないから正直に 話す。 ・ 正直に言ってしまうと悲しむし、これか らの楽しみがなくなってしまう。 ・ 楽しみを奪いたくない。</p> <p>4 級友の発言を聞いた上で、本当のことを 言うか、作り話をするかをワークシートに 書き発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主人公の様子が視覚的に分かるように、場面の絵やセンテンスカードを提示する。</li> <li>・ 資料に興味をもつことができるように教師が読み語りをする。</li> <li>・ 本時の発問につながる重要なできごととは強調して読む。</li> <li>・ 本当のことを言うか、ヤコブと同じように作り話をするか選ばせ、理由もワークシートに書かせる。</li> <li>・ 多様に出た発言は、児童とともに板書で整理する。</li> <li>・ 人数の少ない意見から話し合い、考えを深める。</li> <li>・ 理由を述べたり、質疑応答したりすることで、価値への理解を深めたり、自己の価値観の自覚を深めたりする。</li> <li>・ 挙手をした意見以外でも他の児童の発言を聞いていて思ったこと、感じたことがあれば、その都度発表させる。</li> <li>・ 「はっとした」「なるほど」「参考になった」と感じた発言をワークシートに書かせ、発表しあうことで、学び合う喜びを味わわせる。</li> <li>・ 最初の考えと変わったのかどうか、理由も含めて発表させる。</li> </ul>
ま と め	5分 5 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達のことをよく理解し、友達を大切にしようとする気持ちになるように余韻をもって終わる。</li> </ul>

- 4 反 省  
5 ご 高 評